

大湾区情報 No. 26

グレーターベイエリア情報 発行：2021年12月7日



「大湾区情報」では、日系企業の皆様に有用と考えられる最新情報をいくつかピックアップしお届けします。

【「Unicorns HK 2021」公表「香港のDNA」ユニコーン企業18社がリストに】

香港ではますます多くのスタートアップ企業が成功を遂げており、また多くの国際的起業家が香港に進出してきています。創科香港基金会（Hong Kong X Foundation）は、ハイエンド製造業、ロボット工学、人工知能などの分野を中心とした「香港のDNA」を持つ18のユニコーン企業を掲載した以下の「Unicorns HK 2021」リストを初めて公表しました。

Unicorn HK 2021	
会社	分野
aftership	物流
Airwallex	金融科技
DJI	ロボット
KLOOK	文化消費
Welab	金融科技
4Paradigm	AI
GOOGOLTECH	ハイエンド製造
HAI ROBOTICS	ロボット
LALAMOVE	物流
GeneHarbour	医療医薬
Geek+	ハイエンド製造
GOGOX	物流
SenseTime	AI
SmartMore	AI
SmartSens	半導体
CiDi	AI
Insilico Medicine	医療医薬

マーケットの隙間を狙った「起業家軍団」たち

セコイア・チャイナが香港で設立した慈善基金「Hong Kong X Foundation」（創科香港基金会）と中国国際電視台 CGTN は、特別番組「創新港灣 2021 Inno Bay」を共同制作し 11 月 22 日に生放送しました。当番組では、香港で創業/インキュベートされた企業、香港に本部を置く企業、香港人が創業した企業など、香港のユニコーン企業をリストアップした「Unicorns HK 2021」が公表されました。当リストのスタートアップ企業は、プライベート・エクイティ投資を受けており、未上場、評価額が 10 億米ドルを超え、国際的なユニコーン企業の基準を満たし、また、香港と中国本土の両方の規制要件を満たした企業となります。

評価額 100 億米ドル以上のスーパーユニコーン企業

リスト上の 18 社のユニコーン企業のうち、DJI、SenseTime、Lalamove の評価額が 100 億米ドルを超えており、Airwallex、EcoFlow などの企業も 10 億米ドルを超えており、そのほとんどがハイエンド製造業、ロボット、人工知能の分野に属しています。

またリストに入っているユニコーン企業のうち、6 社が香港科技大学（HKUST）出身の企業であることも注目に値します。「中国起業家の隠れたゴッドファーザー」と呼ばれる李澤湘教授は、これまでに 5 つものユニコーン企業に関わってきました。彼は、HKUST の学生と大学のアントレプレナーシップ(起業家精神)・グループを結成、学生たちに起業を奨励し、資金の手当てや技術支援を行うとともに、大湾区の製造業基盤を活用して、自らの学生が設立したハイテク企業に対してインキュベーションや投資を行い、DJI や GOOGOLTECH などの設立に参加した経緯もあります。

香港の若きユニコーン企業の共通点とは？

創科香港基金会によると、これらの「香港の DNA」を持つユニコーン企業には多くの共通点が見受けられます。まず、**2014** 年設立の **KLOOK** や **2015** 年設立の **Airwallex** など、いずれも非常に若い企業であることです。これらの企業の中で最も若い企業は、香港中文大学のコンピュータサイエンスエンジニアリングの終身教授である賈佳亜氏が **2019** 年に設立したコンピュータビジョン企業の **SmartMore** となっています。

また、その他特筆すべき共通点として「香港を拠点とし、大湾区に根を下ろし、グローバルな視点で活動している」ことが挙げられます。当会の分析によると、「香港の DNA」を持つユニコーン企業の多くは、各大学のスタートアップインキュベータや政府系のサイエンスパーク、サイバーポートなどのインキュベーションスペースや政策を最大限に活用しています。少なくとも **9** 社が香港にグローバル本部やコアオフィスを設置し、大湾区に研究開発や製造拠点を置いています。香港マーケットにおいて製品の質を磨いた後、大湾区の確立された製造サプライチェーン、活発な販売マーケット、豊富な産業クラスターを組み合わせ、試作から量産へと移行し、最終的には全中国、全世界に製品を販売しています。

【第12回コミックエキスポが東莞で開幕、大湾区の文化産業の代表に成長】



11月18日、「第12回中国国際映画・テレビ・アニメーション著作権保護貿易博覧会」（以下、コミックエキスポ）が広東省現代国際展覽センターで開幕しました。今年のコミックエキスポは、「新時代・新アニメーション」をテーマに、知的財産（IP）イノベーションを重視することによる広東省の産業アップグレードの後押しをし、また、ハイブリッド形式でのイベント開催により、中国内外から1,000以上の著名なアニメーションIP関係者がこの東莞の「若者の街」に集結しました。

国内外の著名IP業者が出展

第12回コミックエキスポの会場に入ると、まず目に飛び込んでくるのが「100周年記念アニメ100選」の漫画展です。「1921年を起点に、歴史を振り返り、未来を見据える意味で、中国共産党創立100周年以降の代表的な漫画100

点を選びました。」と本展のキュレーターであり、広州美術学院の准教授である葉正華氏が紹介しました。その中でも「中国抗疫図鑑」が注目を集めた作品で、「この作品はスマホを横にして見て、全長 10 メートルもある作品です。今回はその一部分だけが展示されています。」葉氏は、インターネット上で延べ 10 億回もアクセスがあった「中国抗疫図鑑」を紹介し、「この作品は、芸術はテクノロジーとぴったりと結びつくべきであることを証明しています。」と述べています。

今年のコミックエキスポのオフライン展示会の総面積は 20,800 平方メートルで、3 つの公開テーマゾーンと 7 つの専門ゾーン、3 つの専門フォーラム、10 の産業別マッチングイベントが企画され、中国のアニメ・コミック産業の新コンテンツ、新製品、新モデル、新技術がまとめて展示されています。

会場には、深圳の Fantawild Animation（華強方得）、広州の Alpha（奥飛）などの主要なアニメーション企業や「ポケットモンスター」「ガーフィールド」「鉄腕アトム」などの国際的に有名な IP も展示会に参加しました。

また特筆すべきは、東莞が「若者の街」であり、若者指数が中国で 5 位であることです。今年のコミックエキスポは、若者の年齢特性、関心や興味のポイントをつかみ、特別に「イノベーションの時代、テクノロジーが色を添える」というアニメーションとアミューズメントのインタラクティブ展示エリア、「クリエイティブ・アニメーション、トレンドィ・アート」というアニメーションの展示エリアを配置し、中国内、特に東莞市の優れたローカルのコンテンツや付随するデザイナーズトイブランドが紹介されました。

アニメーション IP が伝統的な企業の転換を助ける

中国玩具協会によると、東莞は輸出、製造の大きなマーケットであり、世界のアニメーション派生商品の 80% が中国で生産、そしてそのうち 3 分の 1 以上が東莞で生産されています。

コミックエキスポをきっかけに、東莞市は、著作権保護の意識を高め、「IP+産業」の統合を促進し、製造業の転換とアップグレードを支援する道筋に沿って、コンテンツ制作と派生商品の品質開発を多角的に進めています。

展示コーナーでは、「ポケットモンスター」「ちびまる子ちゃん」「クレヨンしんちゃん」「マーベル」など、大ヒット商品のブラインドボックスがずらりと並んでいました。広東狼博旺実業有限公司（以下、「狼博旺」）は、世界の代表的なIPイメージに合わせた今時の若者が好む流行の最先端の商品を生み出し、若い消費者に人気を博しています。2010年の設立以来、初めてコミックエキスポに参加した同社の畢錦銘董事長は、設立当初は主に海外ブランドからの発注に依存しており、生産の自主性が弱かったと振り返っています。2019年以降、狼博旺は中国と日本の多くのトップ版權者との緊密な協力のもと、派生商品を多く開発するようになりました。「現在、当社は生産・供給・販売の一貫モデルを形成しており、派生商品の開発・販売によって生み出される売上は全体の60～70%にも達しています」と畢董事長は述べています。

注目のローカルブランド

東莞市東城区の「八仙九猫」スタジオも、オリジナルのデザイナーズトイを出展しました。「八仙九猫」は、中国古代の神話や伝説をベースにしたIPを擁するスタジオです。「私たちがデザインしたイラストやフィギュアは東莞で生産・販売します。また、多くのブランドとのコラボ商品を作り、「国潮*」系のデザインブランドの協力発展を進めていきます。」スタジオの責任者韋経曉氏は述べました。

*中国の伝統的要素を取り入れたファッション、デザイン

東莞市には、完全な玩具製造チェーンが確立されており、現在、流行のブランド企業が続々と集まってきています。これらのブランドがこの古くからの製造拠点に新たな命を吹き込んでいる一方、豊富な製造経験を活かして玩具デザイナーに新たなインスピレーションを与えています。

コミックエキスポは 2009 年 12 月に東莞市で初めて開催されて以来、11 年間にわたり開催されており、中国内外のアニメーション業界の 4,000 社以上の優れた企業を集め、IP ライセンス取引額は 200 億人民元以上に達し、大湾区の文化産業の代表、そして非常に影響力のある著作権取引専門プラットフォームに成長しました。

【総額 866 億人民元以上の投資 前海協力区の高レベル発展に貢献する 40 の重点プロジェクト】



11 月 19 日に行われた「2021 年前海投資促進会議」では、前海・深圳・香港現代サービス産業合作区への進出決定または開始予定の 40 の重大プロジェクトに焦点を当て、前海合作区の高レベル発展に向けてさらに新しいエネルギーを注入しました。そのうち、フォーチュン 500 企業 16 社、中国内外の上場企業 3 社、ユニコーン企業 4 社が前海に投資しプロジェクトを立ち上げており、投資額が 100 億人民元を超える個別プロジェクトが 2 件、10 億人民元を超えるプロジェクトが 16 件、1 億人民元を超えるプロジェクトが 32 件あり、重点プロジェクトの投資総額は 866 億人民元を超えています。

ビジネスサービス業に対し 15%の法人所得税優遇措置を適用

9月6日、「前海深圳香港現代サービス産業協力区の改革開放の包括的推進計画」が正式に公布され、前海協力区の改革開放の新たなスタートを切りました。また、10月6日、香港政府の行政長官キャリー・ラム氏が「2021年施政方針演説」を行い、深圳湾優良開発区の設立構想を打ち出し、前海との開発連携をさらに強化し、前海の将来の発展が再び広く注目されるようになりました。

今回の投資促進会議は、初めて外部に向け、深圳市宝安区、南山区を包括した120平方キロメートルの前海のエリア拡大後の将来の都市計画、産業発展の方向性、重要な政策の導入などに焦点を当て、「大前海」の新たな発展の機会を中国内外の各界にアピールし、より多くの香港企業や香港人の前海への進出を誘致します。

最近、財政部と国家税務総局は共同で、企業所得税15%政策を、法律サービス、会計・税務・資産評価サービス、国際会議、ブランド展示会、専門展示会、および関連の8つ業種リストを含むビジネスサービス業に拡大する通知を出しました。

「税収政策の調整は、主に前海と深圳の産業レイアウトに基づいており、新しいビジネスサービス産業が追加された以外にも、元の4つの産業に対する優遇リストについても最適化し、調整されています。例えば、『情報サービス産業』にはブロックチェーンと工業インターネットが追加され、『文化産業』にはビジュアル・コミュニケーション・デザイン、建築デザイン等が追加されています。」と、この日、国家税務総局深圳税務局の関連業務担当者が紹介しました。

産業リストに適合する企業に対する所得税15%の政策を実施して以来、今年6月までに、前海は累計延べ1,500社以上の企業に対し90億人民元以上に減税または免税をしたことが判明しています。

フォーチュン 500 の企業が立ち上げた 16 のプロジェクト

今年の第 1～3 四半期、新型コロナの予防および管理体制が常態化された状況下で、前海協力区の外資利用実績は 9.5%増の 37 億 4,400 万米ドルと過去最高に達し、深圳市全体の 49.36%、中国全体の 2.9%を占め、前海協力区の好調な発展がさらに強調されています。

投資促進会議の会場では、主要プロジェクトの代表として、香港資本系プロジェクト 10 件、外資系プロジェクト 10 件、国内資本系プロジェクト 10 件が代表として入居イベントを行い、入居の意思決定をした主要プロジェクト 10 件の投資キックオフイベントを行いました。同時に、元々前海で設立され、他地区で発展後、近年インフラが整った前海に再び戻ってきた重点企業 10 社に対して、歓迎のキーが授与されました。

決定済の 10 大プロジェクトのキックオフイベント

香港資本系プロジェクト 10 件は、主に前海の金融、物流、技術サービス、情報サービスの四大産業分野に含まれており、総投資額は約 216 億 2,900 万人民元に達しています。外資系プロジェクト 10 件は、主にアメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、日本など世界の主要先進国によるもので、総投資額は約 23 億 2,500 万人民元に達しています。中国国内資本による代表プロジェクト 10 件は、主に今年の新規または追加投資資本高が大きいプロジェクトで、国寿鉄建インフラ投資基金、平安一帳通、深圳城智通、招融投資、華潤燃氣、延東資本、正威集団前海プロジェクト、地利集団、順豊泰森、品道集団によるもので、投資総額は約 449 億 2,800 万人民元に達しています。

【参考資料】

- ・ [「Unicorns HK 2021」公表「香港の DNA」ユニコーン企業 18 社がリストに](#)
(香港経済日報 11 月 22 日)
- ・ [第 12 回コミックエキスポが東莞で開幕、大湾区の文化産業の代表に成長](#)
- ・ [総額 866 億人民元以上の投資 前海協力区の高レベル発展に貢献する 40 の重点プロジェクト](#)